

対談「長塚圭史、今、あなたへ会いに」

よこはまグリーンピース 代表取締役 椿直樹

JR東日本 横浜駅長 大野武一

特集「長塚圭史カナガワ指令書」

- REVIEW ●KAATな人の行きつけ ●ただいま、KAAT準備中
- 長塚圭史の思いつき ●公演スケジュール

ひらかれた劇場へ。

季刊誌

神奈川芸術劇場

モノ・人・まちをつくる
創造型劇場KAATの広報紙

KAAT PAPER

特集 長塚圭史の見た神奈川

2023-24

冬



「長塚圭史、今、あなたへ会いに」対談①

よこはまグリーンピース 代表取締役

椿直樹

横浜18区で育った野菜から街を知る。

神奈川をより深く知っていくなかで、食文化からも神奈川県を探ってみては、という長塚芸術監督の提案で、横浜で地産地消を広めるために、食堂経営と食育などの普及活動に尽力されている、よこはまグリーンピース代表取締役 椿直樹さんのもとを訪れました。都市の印象が強い横浜で、いったいどんな食材が採れるのか、また横浜の食材にこだわる理由とは？ そこにはこの街への深い想いがありました。

文=末吉陽子 写真=石渡朋



横浜野菜への感動と情熱をかたちに。

長塚 椿さんは、2003年に「横浜野菜推進委員会」を設立し、地産地消の野菜の魅力を広める活動を20年以上展開されています。活動のきっかけは何だったのでしょうか？

椿 30代の頃、スペインレストランのシェフをしていて、月替わりで各都道府県の特産野菜を使ったフェアを開催していました。その時に、神奈川県野菜を調べてみると、大根、ほうれん草、小松菜、長ネぎくらいしかなくて、ちょっとがっかりしてしまっただけです。でも、実際に調理してみると野菜の味や香りがとても良く、感動しました。地産地消で鮮度がいいのはもちろんですが、農家さんがこだわって野菜づくりに向き合っているんだなと感じました。それからは横浜の農家さんが育てた野菜を使いたいと思うようになりました。それが活動のきっかけですね。

長塚 「横浜生まれの野菜」って意外性がありますよね。思い立ってからは、どのようにご縁を紡いでいかれたのでしょうか？

椿 最初は都筑区の農家さんをご紹介いただいて、直接会いに行きました。当時、料理人が畑に足を運ぶことが珍しかったせいか、警戒されてしまって。最初、畑に入れてもらえなかったんです。それでもめげずに週3回のペースで通っているうちに少しずつ受け入れてもらえるようになり、半年くらい経った頃、突然ハサミを渡されて「好きだけ持っていいよ」と。うれしくて泣いちゃいました。

長塚 それは素敵なエピソードですね。

椿 そんな農家さんたちが大好きになって、素晴らしい人たちが丹精込めてつくったお野菜を広めたいという思いに駆られて、「横浜野菜推進委員会」の設立に至りました。

芸術と食に共通する地域への深い愛。

長塚 現在、横浜の食材を一年中楽しめるレストラン「TSUBAKI食堂」を運営しながら、地産地消の大切さを発信するために小中高での食のプロジェクトや大学での講演など、精力的に活動されています。椿さんを突き動かす原動力とは何でしょうか？

椿 「横浜が良い街になってほしい」という想いですね。その根本的な想いから逸脱したことはありません。例えば、「TSUBAKI食堂」では横浜市内の18区



で採れた食材を使った「横浜18区丼」を提供しています。そのメニューを開発するにあたって、それぞれの区の歴史や文化、建物などを知ることから始めました。その際、住民の方たちの自分の区への想いが大変深いということを知りました。だからこそ、横浜の魅力を横浜18区のなかで循環させることで、より良い街になるはずだと信じて活動しています。

長塚 KAATも地域愛に支えられていますので、皆さんにアーティストや作品を愛してもらえたいと思っています。神奈川県で暮らす方々との交流を大切に「この劇場がずっとこの場所に存在し続けてほしい」と思ってもらいたいと思っています。

椿 私は演劇を鑑賞するのが大好きですが、なんとなくKAATは気軽に行けないイメージがあるかもしれませんね。まず地域住民に足を踏み入れていただく工夫が必要かもしれません。その意味で、レストランと似ていますね。

長塚 それで言うと、KAATはあまり気取らずに普段使いできるような、面白そうで、それでいて社会性が高く、多様なお芝居が鑑賞できる場所として親しんでもらいたいと思っています。

食を起点に子どもの想像と創造を広げる。

長塚 椿さんは横浜で料理教室を実施するなど、子ども向けの食育にも注力されています。どのような想いで取り組まれているのでしょうか？

椿 私は元々野菜嫌いで、じつは今でも得意ではなくて(笑)。でも、横浜野菜に出会ってからは同じ野菜でも畑ごとに味わいが異なることを知りました。その発見と感動で野菜が大好きになりました。だからこそ、一人でも多くの子どもたちに自分と同じような体験をしてもらいたいと思っています。

長塚 どのようにして子ども向けの食育活動を広げていかれたのでしょうか？

椿 農家さんの時と同じで、手探りで広がっていきました。自分の出身小学校を含めていろいろな学校に手紙を書いて「こんな食育の授業をしたいです」と打診したこともありましたが、最初はあまり反応が良くなかったのですが、横浜野菜の取り組みが新聞で紹介されたことがきっかけで、ある学校で出前授業をすることになり、それが反響を呼んで。今も神奈川県内の学校で継続的に授業をしています。また児童養護施設で「料理塾」を開催していて、将来料理人を志している子どもたちに向けて、料理を教える活動を15年間続けています。なかには寿司屋の大将になった子もいるんですよ。さまざまな事情で親と暮らせない子どもたちが、地域の人たちに助けられた、守ってもらえたという幸せな感覚をもってもらえたら、こんなにうれしいことはありません。

長塚 そのような体験づくりをされていて、素晴らしいですね。社会に根付くまで活動を継続することが、いかに簡単ではないことなのか、僕らもKAATを通して、まさに今、実感しているところです。18区丼などさまざまな取り組みによって、地域の人に関心を寄せてもらい、それを継続していく。一見、食と演劇は遠い世界のことのようですが、とても参考になるお話でした。また18区丼をいただきにお邪魔します。椿さんもKAATにいらしてください。

椿 家族と一緒に、ぜひ伺います。



椿直樹 Naoki Tsubaki

TSUBAKI食堂オーナーシェフ。横浜市保土ヶ谷区生まれ。横浜野菜の魅力を広く伝えるため2003年「横浜野菜推進委員会」を設立。料理を通して食育を推進する活動に携わる。その取り組みが評価され2009年、神奈川県で初めて農林水産省「地産地消の日本人」に認定される。2010年「濱の料理人」プロジェクトを結成。2016年、横浜野菜の魅力を引き出すレシピ55点を掲載した『横浜の食卓〜根性レシピ』を出版。

TSUBAKI食堂

横浜地産地消にこだわり、横浜の新鮮な食材をふんだんに使った料理とお酒を提供。横浜で採れた野菜が山盛りの「名物!ど根性サラダ」、もちもち食感のYOKOHAMAヨークシャーの「もっちりポークカツレツ」などのメニューに加え、横浜のクラフトビール「横浜ビール」や、「横浜ポートサイダー」、横浜のブランド梨のジュース「浜なし」などのドリンクも。横浜18区をそれぞれテーマにした「横浜食育18区丼」を期間限定で展開している。
〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町6-50-10 横浜市市庁舎2F
☎045-211-4300 URL <https://tsubaki-shokudou.com/>
ランチタイム 11:00~15:00 / ディナータイム 17:00~22:00

「長塚圭史、今、あなたへ会いに」対談②

JR東日本 横浜駅長

大野武一

神奈川県を東西南北をつなぐ横浜駅

神奈川県をよくご存じなのは、県内随一のターミナル駅、横浜駅の駅長さんなのでは？ そう考えた長塚芸術監督は、JR横浜駅の大野武一駅長のもとを訪れました。JRだけでも1日34万人が乗車する横浜駅にはどんな歴史があるのでしょうか。大野駅長とともに、「鉄道」という視点から神奈川県について考えてみました。

文=編集部 写真=石渡朋



横浜駅の正面は、西口、東口？

長塚 今日、あらためて横浜駅のまわりをぐるっと回ってみると、東口と西口をつなぐ中央通路がドンと構えていて、それに並行して北通路と南通路がある。大きな駅なので複雑に感じていたけれど、実は利用者にとってわかりやすい構造になっているんですね。ところで、横浜駅の正面口は西と東、どちらなんですか。

大野 横浜中央郵便局側の東口だと思います。これには横浜駅の歴史が関わってくるのですが、今の駅舎は4代目なんですね。日本の鉄道の歴史は、明治5年(1872年)10月14日に、新橋ー横浜間が開通したことからはじまりました。この時の初代横浜駅は、現在の桜木町駅です。2代目は、今の横浜駅から1kmほど離れた高島町交差点付近にありましたが、関東大震災によって焼失し、昭和3年(1928年)に今の場所に移転したのが3代目です。それが昭和55年(1980年)に改築され、現在の4代目駅舎となりました。それで、なぜ東口が正面かという、3代目横浜駅の大時計が東口にあったからなんです。この大時計は、今は横浜市電保存館^{※1}に保管されています。横浜駅のシンボルとしていたようなので正面は東口だと思っていますが、西口にも多くのにぎわいがありますので「諸説あり」でしょうか。

長塚 西口には大きな商業施設のほかに、小さなお店がたくさんありますね。横浜モアーズの奥にある「狸小路」も以前から気になっていました……。

大野 いいところに目をつけましたね。狸小路は昔からある横丁で、働く人たちが仕事終わりに立ち寄る人気のエリアです。西口は百貨店や地下街、飲食店などで賑わっていますし、東口はそごう横浜店やマルイシティ横浜など大規模な商業施設があり、みなとみらい地区に来街する際にもご利用いただ



いております。ほかに南側周辺は「裏横浜」として注目され、北側もどんどん開発が進んでいます。

長塚 駅を中心に街が広がっているんですね。

大野 我々の使命の一つは、地域と一体になって街を盛り上げていくことです。それから、周辺だけでなく駅自体も暮らしのプラットフォームになる「Beyond Stations 構想」^{※2}を掲げており、「JRE MALL」などの事業も行っています。いつ行っても何か面白いことがある、そんな駅を目指しています。



横浜駅に乗り入れる鉄道6社局。駅長たちの交流も活性化の鍵。

長塚 もう一つ、横浜駅の大きな特徴は、鉄道6社局の乗り入れですよ。

大野 神奈川県内はJRだけでも、東海道線、横須賀線、京浜東北線、南武線など複数の路線が運行しています。そして、横浜駅には、JR、京急電鉄、相模鉄道(相鉄線)、東急電鉄、横浜市交通局(横浜市営地下鉄)、みなとみらい線が接続しているわけですが、例えば、横浜駅から相鉄線で海老名駅まで行って、そこで、横浜駅には接続していない小田急線に乗り換えると、横浜駅を起点に、神奈川県内のあらゆる場所に行くことができますよ。

長塚 そう考えると、横浜駅は僕らにとっても重要な駅です。2021年度から、「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト」として、神奈川県を題材にした演目で県内の劇場を巡演しています。2024年2月から第二弾も予定しているのですが、僕らが目指す場所はすべて横浜駅から行くことができるわけですね。それにしても、6社局とはすごいなあ。駅長さん同士は交流があるのでしょうか。

大野 つい最近も6社局の合同イベントを開催して、6社局のマスコットキャラクターと駅長が集まりました。一つの駅に6社局も乗り入れをしているのは日本でここだけです。日頃より連携を図っています。

長塚 そういえば横浜駅は、乗車人員でも日本有数でしたね。

大野 JR東日本のランキングでは、新宿、池袋、東京に次いで4位です。平日は通勤通学、週末は観光やレジャーでご利用いただいています。みなとみらい地区の開発が進み、最近では、ぴあアリーナMMやKアリーナ横浜など、エンターテインメント施設を目的に利用される方も増えました。

駅と街、劇場と地域が一体になって、さらに魅力あふれる神奈川県へ。

長塚 KAATの最寄り、みなとみらい線の日本大通り駅、または元町・中華街駅です。JRなら関内駅が最寄りなのですが、徒歩14分と少し離れているんですよ。車を利用される方もいますが、カーボンニュートラルの観点からも、ぜひ電車でお越しいただきたいと思っています。それから僕らは、公益財団法人神奈川芸術文化財団が運営する公立の劇場です。県の劇場として、演劇ファンのみならず、県民の皆さんにも、もっと愛される劇場を目指しています。だから、横浜駅周辺でお買い物をする県民の皆さんにも、もう少し足を延ばしてKAATまでお越しただけにしろ、というのが僕らの課題なんです。

大野 実は以前、関内駅長を務めたことがあり、関内周辺もよく知っているのですが、中区は神奈川県民ホール、横浜関内ホール、横浜にぎわい座など、たくさんの文化施設があり、県内でも特にアートが集まるエリアです。横浜中華街や横浜赤レンガ倉庫など観光スポットも多く、横浜スタジアムや旧・横浜文化体育館もありますね。もともと魅力のあるエリアなのですが、今は一つひとつが独立している印象があります。周辺の施設がお互いに連携すれば、中区の魅力をもっとアピールできるだろうし、中区の他の施設に遊びに来た人が、次はKAATに行ってみようと思うかもしれません。

長塚 確かに、横浜駅6社局の駅長さんたちのように、僕らを含めた文化施設も、今よりもっと連携を強めていく必要があります。僕らもさらに時間をかけて、県内の文化施設や、神奈川県の皆さんと、こまめなコミュニケーションをとっていかなくてはいいですね。

※1「横浜市電保存館」……………明治37年から昭和47年まで約70年間運行していた市電の車両や、横浜の都市交通の歩みを展示。

※2「Beyond Stations 構想」……JR東日本グループは、ヒトの生活における「豊かさ」を起点として駅のあり方を変革し、「交通の拠点」という役割を超えて、駅を“つながる”「暮らしのプラットフォーム」へと転換することで、駅のもつ可能性を広げ、新たな収益確保と価値創造を実現するプロジェクト。

大野武一 Takeichi Ono

山梨県身延町生まれ。高校卒業を機に上京し、1980年に旧国鉄に入社。鶴見線・安善駅から始まり、東京駅、新子安駅、横浜駅、横浜支社での勤務を経て、関内駅長、川崎駅長を歴任し、59代目の横浜駅長に就任。

長塚圭史

カナガワ指令書

B.箱根



東京っ子の長塚芸術監督が、神奈川県と真正面から向き合って約3年。「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト」では、県内のあちこちに出向き、戯曲のヒントを探ってきた。2024年2月上演の『箱根山の美女と野獣』『三浦半島の人魚姫』では、神奈川のどんな人、場所、歴史に触発されたのか。長塚監督が「これはスゴイ！ 皆さんも訪れるべき」と感銘を受けたスポットや、KAAT周辺のお気に入りの場所をピックアップ。ここを訪れたら、これからのKAATがもっと面白くなるはずだ！

QRコードからMAPにとべます。



其の7 箱根ジオミュージアム

箱根火山の歴史を知る

箱根山とは駒ヶ岳や冠ヶ岳、二子山や鷹巣山などいくつかの山で構成される火山の総称。ここでは、火山としての箱根の歴史や温泉の仕組み、自然の魅力などを詳しく知ることができる。

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1251

A.横浜元町エリア

其の1 味のラーメン 海賊

横浜の人に愛される、街中華のチャーハン

馬車道でふらっと立ち寄り、ここのチャーハンの味に取り憑かれた。いわゆる「街中華」で、お昼時には、横浜で働く人たちがいっぱいになるほど、街の人たちに愛されているお店だ。とにかくチャーハンをぜひ食べてほしい。

〒231-0006 神奈川県横浜市中区南仲通3-30-2

其の2 1-1&ザ・ルーフトップ

港の見えるレトロビルでワインを嗜む

1932年竣工のレトロなビルにある人気のお店。いつもお客さんでいっぱいだから、入れたらラッキーだ。港を一望するテラスと店内があるのだが、ぜひここでシュマイを食べてほしい。

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1-1 海岸通壱番館 3F
※平日のテラス席は開いていないため、注意してご来店ください。

其の3 中国家庭料理 山東 二号店

演劇人が通う山東省の家庭料理

演劇人がよく足を運ぶお店といえば、中華街の山東。ふらっと入るとKAATで観劇後の関係者に出くわすことも少なくない。

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町150-3

其の5 Spice Curry 丸祇羅 マルマサラ

カレー好きは必食！ 人気店の絶品の一品

実はカレーに目がない。伊勢佐木町のあたりでカレー屋さんを調べている時に見つけたのがこのお店。噂に違わずとても美味しいので、KAATから少し距離があるものの何度かお邪魔している。ここは老若男女、すべての人におすすめしたい。

〒231-0043 神奈川県横浜市中区福富町仲通4-2 一和ビル3F

其の4 横浜・元町・喜久家

老舗のラムボール

老舗洋菓子店・喜久家のラムボールは、プレゼントしても貰ってもうれしい一品。しっかりボリュームがあるので、一つ食べると満腹になってしまうほど。今流行りのスイーツとは一味違う、「洋菓子」であるところもいい。

〒231-0861 神奈川県横浜市中区元町2-86





其の1 箱根ロープウェイ・箱根登山ケーブルカー

野獣が出る？ 異形の世界・大涌谷へ
 温泉郷としても有名な強羅から箱根登山ケーブルカーに乗り。早雲山駅でロープウェイに乗り換え山頂を目指す。インバウンド活況の昨今、海外からの観光客にも大人気だ。青々とした箱根の自然に魅了されるうちに、あたりは野獣がいそうな大涌谷へ。
 早雲山駅 〒250-0408 神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-328

其の2 箱根写真美術館

箱根の美しい写真と人の温かさに触れよ
 写真家の遠藤桂氏が館長を務める小さな写真ミュージアム。実は、副館長である遠藤詠子さんには今回、大変お世話になった。「この辺で野獣が出そうな場所をご存じですか？」という不思議な質問に対して、この地のことを丁寧に教えてくださった。聞けば、親子三代にわたる箱根の写真一家だとか。併設するカフェで一息つくのもいい。
 〒250-0408 神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-432
 ※現在改修工事のため休館中。2024年春リニューアルオープン予定(併設カフェは営業中)

其の3 箱根登山鉄道

何はともあれ、スイッチバックを体験せよ！
 箱根山の山頂を目指すには車や登山もいいけれど、「箱根登山鉄道」を忘れてはいけない。車両の前方にいたと思えば、切り替わるといつの間にか後方に。スイッチバックに夢中になっているうちに強羅に到着だ。
 箱根湯本駅 〒250-0311 神奈川県足柄下郡箱根町湯本白石下707-1

其の4 精進池

悲恋の伝説が残る、静かな池へ
 豊かな自然に囲まれた静かな場所にある小さな池。美しい女性が一人の男性と恋に落ちたが、その人は大蛇だったという伝説が残されている。『箱根山の美女と野獣』を構想するヒントになった場所だ。
 〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根

其の5 箱根神社・芦ノ湖

箱根山の聖地にお参り
 芦ノ湖付近は、箱根駅伝の往路のゴールとしても有名。観光地としても人気のエリアだが、湖畔には箱根神社などがあり、箱根は長らく信仰の地だったことを思い起こさせる。芦ノ湖は、神山の水蒸気爆発により形成された。箱根の地形の生い立ちにも思いを馳せることができる場所。
 箱根神社
 〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根80-1

其の6 箱根山

KAATから1時間、神秘的な箱根山を目指せ！
 今回のツアー・プロジェクトの一つ『箱根山の美女と野獣』の舞台。箱根山は信仰の場でもあり、箱根登山鉄道と箱根登山ケーブルカー、箱根ロープウェイに乗り続けば、地球の原始の姿を留める大涌谷が姿を現す。黒たまご片手に硫黄ガスを抜けると、ふもとには芦ノ湖。観光地としても第一級の面白さだ。
 〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根

C. 三浦半島エリア



其の1 猿島

かつての要塞は自然の楽園
 横須賀の三笠桟橋からフェリーで約10分の無人島。かつては東京湾の首都防衛拠点として、砲台や要塞の機能を備えていた。場所によって、イギリス積みやフランス積みなど異なる建築様式を見ることができる。蛇のように見えるウラシマソウなど独特な植物の宝庫でもあり、自然の楽園だ。豊かな緑を楽しんでいると時を忘れてしまう。
 〒238-0019 神奈川県横須賀市猿島1

其の5 油壺

戦の歴史も今は静かな海に
 三浦半島の名前の由来にもなった、三浦一族の歴史が残る油壺。静かな岬で、人魚が現れてもおかしくはないほど美しい場所だ。しかし少し入ると三浦道寸の墓があり、やはり歴史の迫力が顔を出す。
 〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代周辺

其の2 観音崎

美しい海岸線と釣れたての魚
 美しい海岸線を眺めるだけでも楽しいが、高台にある走水神社に祀られている河童大明神にお参りしよう。近くの「味美食堂」では、その日釣れた新鮮な魚を堪能できる。
 〒239-0813 神奈川県横須賀市鴨居4

其の4 ベッカライ・ゾンネンキント

油壺で出会ったドイツパン
 ドイツで修業を積んだ小網代のパン屋さん。パンが美味しいのはもちろんのこと、ヨーロッパの香り漂うお店の雰囲気もいいし、グッズコーナーにある油壺Tシャツも可愛い。油壺の歴史の迫力から、ここでほっと一息。『三浦半島の人魚姫』のリリースでは、またも「人魚の出そうなところを教えてください」とお願いして、丁寧に答えてくださった。
 〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代1257-10

其の3 小網代の森

ヨーロッパを思わせる美しい森
 油壺湾や小網代湾にはマリナーが点在している。それを横目に車を走らせると現れるのが小網代の森。海岸線からいきなりこんもりとした森が始まっているので、可愛らしくもある。緑豊かな森は、ヨーロッパの森のような風格さえ感じる。
 〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代

REVIEW



KAATキッズ・プログラム2023

『さいごの1つ前』

2023年7月21日(金)ー7月24日(月)
KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

作・演出:松井周
出演:白石加代子、久保井研、
葉丸翔、湯川ひな

演劇と遊ぶ、夏休み

文=稲村太郎(公益財団法人セゾン文化財団 プログラム・ディレクター)

小学生の頃の夏休みは私にとって何か特別な時間だったと思う。一昔前に比べると忙しい毎日を過ごしている小学生の息子に、日常とは異なる体験をさせたいと思うが、共働きのとなるとそれを準備したり、実行したりするのは正直、ハードルが高い。夏休みの定番とも言える選択肢はあるが、いざ計画しようと思うと途方に暮れてしまう。

そんな矢先に『さいごの1つ前』のチラシを目にした。「天国と地獄の分かれ道で、なくした記憶を探すおしばい」だという。「天国と地獄の分かれ道」から、まず連想したのは三途の川だが、そのチラシでは薄暗さとは対照的にこれから冒険が始まるイメージがポップに描かれ、子どもも大人も一緒に楽しめる予感があった。本作は、天国に行くために必要な「生きていた頃の最高の思い出」を、記憶がはっきりしないカオルのためにそこに集まった人たちが考えるお話。個性豊かなキャラクターが、観客席の子どもたちに問いを投げかけ、カオルの記憶の断片から最高の思い出を観客と一緒にかたちづくっていく。

死というシリアスなテーマで人の幸せとは何かを問いかける作品だが、俳優の演技や演出、美術や衣裳などで、子どもの心に届くようにとてもよく練られていた。カオルを演じる白石加代子さんはオシャレなピンクのツートンカラーの髪に園児が着るスモック姿で登場し、時に幼い少女、時に女子、そして時に凄みのある役者になって、変幻自在に子どもの心を奪っていく。

また地獄といっても、アイスがふわふわと浮かぶメロンソーダの海に囲まれた無人島で孤独を味わうという地獄などであったり、天国か地獄に行くのかを決めるのはAIだったりという、とても現代的で遊び心にあふれている世界を親子で目を見合わせて笑った。

終演後のロビーには、観劇の感想を文字で書いたり、絵で描いたり、ハンコで世界観をデザインできるもう一つの楽しみが準備されていた。6歳の息子はすぐには思いや感情を文字や絵では表せない様子であったが、彼のなかではまだ劇は終わっていなかった。何かを思い出したように、幽霊になったカオルを演じてみたり、自分のぬいぐるみのクマちゃんが地獄の案内人に遭遇するごっこ遊びをしていたりと、その続きをまだまだ楽しんでいるようだ。



撮影=宮川舞子

稲村太郎(いなむら・たろう)

大学卒業後、株式会社ワコールアートセンター/スパイラルに入社し、現代美術展の企画・制作などに携わる。2011年よりセゾン・アーティスト・イン・レジデンスのプログラム・コーディネーターを経て、2022年から現職。現代演劇や舞踊を対象とする助成事業に関わる。

KAATキッズ・プログラム2023

『さかさまの世界』

2023年7月1日(土)ー7月9日(日)
KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

振付・構成・演出:伊藤郁女
出演:川合ロン、Aokid、岡本優、石川朝日
声の出演:伊藤博史
こどもたち(熊猫幼稚園、横濱中華幼稚園)

たがの外れた世界

文=サンソン・シルヴァン(在日フランス大使館 文化担当官)



撮影=金子愛帆

母となり、まだ幼い男の子がいる伊藤郁女は、「伝えること」について深く思いをめぐらせている。現代のようにますます不安をかき立てる一方の乱れた世界において、新世代の子どもたちの成長を助け、創造性を高め、独自の個性を活かせるようにするため、自分の経験を伝えるにはどうすればよいだろうか。

伊藤郁女はこの作品でさまざま

な仕掛けを駆使して子どもたちの声を集め、幼い子どもたちの世界観を糧にしている。子どもたちの形而上学的な考えや消えることへの空想を担った男女のダンサー・俳優4人が、死や変化に対する人間の実存的な恐れを舞台上で表現する。安っぽい格好をした4人のスーパーヒーローは、踊ることを別とすれば、これほど重大な任務の前には無力なことが明らかになる。しかし舞台上に誘われた子どもたちが折に触れて手を貸し、願いや望みを表明する。足を踏み鳴らし、拳を突き上げる。舞台と客席の間の空気がなごみ、陽気なざわめきのなかで世代間のコミュニケーションが交わされる。舞台を占領し、請われて作品に参加した喜びを示す子どもたちもいる。

亡くなった大切な人たちに生きる者からのメッセージを聞かせた『あなたへ』と対をなすかのように、伊藤郁女はこの茶目っ気あふれる作品を私たちに届ける。そこは夢を公言し、成長し、たがの外れた世界を元に戻すための舞台である。

サンソン・シルヴァン(Samson Sylvain)

パリ・ナンテル大学にて哲学を、第7大学にて日本語を、ソルボンヌ・ヌーヴェル大学で出版を学ぶ。2005年、神戸大学で日本学修士号を取得。2007年より東京在住。2011年よりアンスティチュ・フランス東京(現・東京日仏学院)文化部主任となり、2018年より現職。ビジュアルアートと舞台芸術の分野における日仏文化交流の推進に努める。

KAATキッズ・プログラム2023

『くるみ割り人形外伝』

2023年8月5日(土)ー8月13日(日)
KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

作・演出:根本宗子
音楽:小春(チャラン・ポ・ランタン)
出演:大橋凜乃 / 澤田杏菜(Wキャスト)
中村鶴松、一色洋平、
もも(チャラン・ポ・ランタン)、
山之口理香子
演奏:Acc小春(チャラン・ポ・ランタン)
【カンカンバルカン楽団】
Dr:ふーちゃん
Ba:さくらん
Sax:岡村“オカビ”トモ子

どうしてこんなに胸の奥がキューツとなるのか

文=田村芽実(女優・歌手)

根本宗子さんの作品を見たあととはいつも、言葉にできない気持ちになります。劇中で、主役のクララも言っているセリフ、「胸の奥がキューツとなる」まさにこれだと。究極の感情になり、胸の奥まで突き抜かれてしまうのです。世界観は演劇的で非現実的な設定なのにもかかわらず、自分の記憶、今置かれている環境、心の奥底に沈み込んでいる感情まで、すべてがぐちゃぐちゃにかき混ぜられるようになって、自分でも整理するのに時間がかかるのです。それでも最後は涙でポロポロ。それは、客席からステージの上で繰り広げられている物語に感動しているだけではなくて、その作品が、自分の人生や感情と重なり合う瞬間が深くあるからです。根本さんの作品の矢印はうねるんです。演劇って、矢印が舞台上から客席に、そして客席から舞台上に向き合っているものだと思いますが、根本さんの作品は、自分から舞台に向けた矢印がそのままターンして自分に返ってくるような感じ。作品を見ているのに、気づくと鏡のように私自身を見せてくれるのです。そして、この作品の主人公は、ほんとうは音楽やミュージカルが大好きだけれど口には出すことのできない女の子。大人になると、素直になりたいけども、ほんとうの素直って何だろうかと迷子になってしまうことってあると思います。ミュージカル女優として活動している私の心には、よりいっそうグツとくるものがありました。「聞いて 私ね ミュージカルが好き」この、聞いて 私ね、の、話し言葉を歌に混ぜ込むやり方も、なんて素直な言葉の、気持ちの伝え方だろう。と、やられてしまいます。さらに、登場人物の役名もかなり斬新。主人公のクララ以外は、「演劇」「歌舞伎」「歌手」「踊り子」と、ステージだからこそ、生ものだからこそ心を動かすエンタメを面白く取り込んでいるところも非常に興味深くありました。子どもも大人もワクワクできる、そして、胸がキューツとなるクリスマスのお話でした。



撮影=Masayo

田村芽実(たむら・めいみ)

2011年にスマイレージ(後にアンジュルム)としてデビューし、高い歌唱力と表現力でグループの中核を担う。2016年に同グループを卒業後、ピクチャーエンタテインメントよりソロシンガーとしてメジャーデビュー。舞台を中心に女優・歌手として精力的に活動。2023年に出演したNHK連続テレビ小説『らんまん』も話題に。2023年12月よりフレンチロックミュージカル『赤と黒』に出演。読売新聞夕刊popstyleにてコラム「ひめごと」を連載中。

KAAT EXHIBITION 2023

『浅田政志展 | YOKOHAMA PHOTOGRAPH -わたし/わたしたちのいま-』

2023年9月3日(日)ー10月1日(日)
KAAT神奈川芸術劇場〈中スタジオ・アトリウム〉

写真家:浅田政志

演出されて、ほんとうになる

文=大崎清夏(詩人)

暗闇にぼんわり浮かび上がる、着彩されたポートレート。展示空間に入った瞬間、等間隔にずらりと配置された写真群から、そこに写る一つひとつの生活の生々しさが、ぶわっと匂いたってきた。私は事前に、この会場で(詩と音のパフォーマンス)を上演する準備のために、展示される写真を紙でも確認していたけれど、照明によって魂を与えられたように発光して見える一枚一枚の写真からは、被写体の皆さんの話し声や笑い声が、紙で見た時よりも朗々と聞こえてきた。

写真の裏にはそれぞれ、この撮影プロジェクトに応募した方の言葉と署名がある。「しっかりとこの奥さんがいないとこの店はもちません」「こっそり上司も写っています」「元気にニコニコ育てていこうと思います」。生きる日々の刻印のような言葉はどれもうれしくて、読んでいると顔がにやけてくる。

会場の壁の一つは大きな横長の鏡面になっていて、鏡の前に立つと、鑑賞者である「わたしのいま」が「わたしたちのいま」に自然と混ざってゆく。私ならどんな一枚を残したいだろうか?とぼんやり考え、それを考えるのは自分の人生に真正面から向き合うことだと気づいて、はっとする。それはSNSで見せたい自分を切り貼りして見せることとは、まったく違う。

残したい一枚をイメージできる喜びを、ここに写った人たちはみんな、ちゃんと噛みしめている。ちゃんと噛みしめていることがわかるよう、緻密に構成が演出されている。「わたし」を知らない誰かや、いつかずっと未来の「わたし」に残すために、素敵な嘘をいくつもちりばめて、写真はほんとうの「いま」になる。それはまるで、演出されてほんとうになる、演劇のようだった。



撮影=木暮伸也

大崎清夏(おおさき・きよか)

1982年神奈川県生まれ。2011年「ユリイカの新人」に選ばれ、2014年、詩集『指差すことができない』で第19回中原中也賞受賞。『踊る自由』で第29回萩原朔太郎賞最終候補。著書に『目をあけてごらん、離陸するから』などがある。音楽家や美術家など、他ジャンルのアーティストとのコラボレーションも多い。

KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 『アメリカの時計』

2023年9月15日(金) - 10月1日(日)
KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

わたしたちは沈黙した

文=森泉岳士(マンガ家)

作:アーサー・ミラー
翻訳:高田曜子
演出:長塚圭史
出演:矢崎広、シルビア・グラブ、
中村まこと、河内大和、
瑞木健太郎、武谷公雄、
大久保祥太郎、関谷春子、
田中佑弥、佐々木春香、
斎藤瑠希、
天宮良、大谷亮介

優れた作品は優れた「問い」だ。
長塚圭史の作品を観た直後はいつも多くの問いが頭のなかを駆けめぐり思考が暴走する。100年前のアメリカの恐慌を描いた戯曲を今の日本で上演する意味や、土を使った有機的な舞台装置とその演出意図、それから例えば「何か大きなことが間違ってた」というリー・ボームの台詞の多義性など作品をめぐる考えがあふれてきて、ひと言でいえば悦楽である。



撮影=宮川舞子

作品冒頭でリーが「アメリカを真に揺るがしたのは独立戦争でも世界大戦でもない。南北戦争と大恐慌だ」と看破したが、それはほんとうだろうか。そんな問いも浮かんでくる。劇中で料理を提供した黒人はその対価にラジオを受け取り「恐慌など関係ない」と笑っていたからだ。白人であるリーの「アメリカ」に黒人は含まれていない……そんな答えが頭に浮かび、そしてそこから新しい問いが次々と生まれる。

アメリカとはなんだろう。国とはなんだろう。国が国民を守ってくれない時、わたしたちになにができるのだろうか。倒れた老人になけなしの金でミルクを買ってあげるのか、抗うのか、嘆くのか、それとも沈黙するのか。

沈黙。でもなにに対して？

本作では観劇していた自分たちがスクリーンに映され舞台上に「出演」という演出があった。わたしたちは農場の品物を買う競売客として舞台に組み込まれたのだが、立ち会った農場の持ち主が自分たちの農場を取り戻すため競売人を拘束するという事件が起きた。彼らは法を犯した。だけど国民を守らない法に、国に、なんの価値がある？ その場にいた私たちは逡巡しながらも成り行きを見守った。誰ひとり立ち上がり、わたしも含め、最後までみな沈黙をつらぬいた。

森泉岳士(もりいずみ・たけひと)

水で描き、そこに墨を落とし、細かいところは爪楊枝や割り箸を使うという技法でマンガを執筆。2018年『報いは報い、罰は罰』、2019年『セリー』で文化庁メディア芸術審査委員推薦作品選出。最新刊『佐々木奈々の究明』が2024年1月刊行予定。

KAATな人の行きつけ 《第7回》 レ・ザンジュ・ベイ

KAATの周辺は、食事や買い物、観光スポットが豊富な魅力的なエリア。
そこで出演者やアーティスト、スタッフが足しげく通う、
この街の“行きつけ”をご紹介します。
写真=石渡朋



源氏山〜しぼりたてモンブラン〜 ¥1,312(税込)
アッサムティー ¥550(税込)

KAATからほど近いレ・ザンジュ・ベイ。1Fはつくりたてのお菓子やオリジナルケーキ、焼きたてのパンが並ぶパティスリーとブーランジェリーです。KAATスタッフはこのパンがお気に入り。ランチとしても、親しい人への手土産としてもぴったりです。そして2Fは、ビーフシチューやキッシュのランチや、デザートがいただけるル・モンブラン・カフェ。人気No.1の「源氏山〜しぼりたてモンブラン〜」は、オーダーが入ってから仕上げるこだわりの一品。ディロンラムが香る国産和栗のペーストとなめらかな生クリーム、サクサクしたメレンゲの食感のコントラストを楽しめます。クリアな香りの紅茶を合わせれば、豊かな午後のひと時を過ごせるはず。昼公演の前後や、夜公演の前に立ち寄りたいたいお店です。



LES ANGES BAIE(レ・ザンジュ・ベイ)
〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町26-1
☎045-225-8497

営業時間
pâtisserie et boulangerie(1F) 11:00~19:00
ル・モンブラン・カフェ(le maison・2F) 11:00~18:00(L.O17:30) 無休

より多くのお客さまに、 舞台を楽しんでもらえる場所へ。

ただいま、
KAAT準備中

芸術文化はどなたにとっても楽しめるものであってほしい、とKAATをはじめ、神奈川県内の一部ホールでは、目が見えづらい、耳が聞こえづらいなど、鑑賞に不安のある方が楽しみやすくなるためのサポートを行っています。今回は、KAATが取り組んでいる「鑑賞サポート」に注目。事例と合わせて紹介します。

KAATが初めて公演に鑑賞サポートをつけることに取り組んだのは、今から4年前。長塚芸術監督が就任前に演出で携わった『セールスマンの死』での画面にセリフが表示される字幕タブレットの導入でした。ここからKAATとして、「お客さまが行きたいと思った公演を不自由なく楽しんでもらえるように」という思いのもと、積極的に鑑賞サポートに取り組み始めました。2023年9月に上演した『アメリカの時計』では、字幕タブレットのほか、手話と字幕付きの公演の事前説明会、上演台本の貸し出し、手話で公演情報を伝える動画の公開を行いました。

「当事者の方に手話で告知していただいた動画の公開は、必要な方に情報が伝わりやすくなり、反響もよかったです。また、公演に関する事前説明会で作品の基本情報を知るとは、一気に舞台に引き込まれやすくなりますよね」と社会連携ポータル課の駒井さん。

また、2024年2月から上演する『スプーンフェイス・スタインバーグ』では、KAATとして初めて、視覚に障がいのある方に向けた、音声ガイドの導入を予定しています。これはイヤホンからリアルタイムに舞台の様子を伝えるアナウ



「アメリカの時計」で実施されたいろいろによる、手話と字幕による告知動画



「アメリカの時計」事前説明会の様子

ンスが流れ、見えづらい方、見えない方の鑑賞をサポートするもの。より多くの方に来ていただくためのこうした取り組みは、「ひらかれた劇場」としての大きな役目の一つであるとKAATは考えています。

公演情報

KAAT神奈川芸術劇場プロデュース
『スプーンフェイス・スタインバーグ』

2024年2月16日(金) - 3月3日(日)
KAAT神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

作:リー・ホール 翻訳:常田景子 演出:小山ゆうな
Wキャスト:片桐はいり、安藤玉恵

鑑賞サポート情報

2月23日(金・祝) 視覚に障がいのある方のための音声ガイド
3月2日(土) 聴覚補助のためのヒアリングループ

〈その他、今後の鑑賞サポートの予定はこちら〉

<https://social-inclusion.kanagawa-arts.or.jp/support>



KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第二弾
『箱根山の美女と野獣』
『三浦半島の人魚姫』
2024年2月3日(土) - 12日(月・休) (中スタジオ)
作・演出:長塚圭史 音楽:阿部海太郎 振付:柿崎麻莉子
出演:菅原永二、柿崎麻莉子、四戸由香、長塚圭史、片岡正二郎
演奏:トウヤマタケオ
チケット発売中
県内巡演プロジェクト第二弾!
神奈川県にひっそり棲まうという野獣と人魚の秘密に迫る。
世界の名作が奇想天外に生まれ変わる豪華2本立て!



KAAT神奈川芸術劇場プロデュース
『スプーンフェイス・スタインバーグ』
2024年2月16日(金) - 3月3日(日) (大スタジオ)
作:リー・ホール 翻訳:常田景子 演出:小山ゆうな
Wキャスト:片桐はいり、安藤玉惠
チケット発売中
7歳の少女スプーンフェイスの死を通じて
命の輝き、生きる意味を問う珠玉の一人芝居
癌に侵された自閉症の少女・スプーンフェイスを
個性が光る2名の俳優がWキャストで演じます。



(チケット取り扱い・お問い合わせ)
チケットかながわ 0570-015-415(10:00 ~ 18:00 / 年末年始を除く)

提携公演

- 24年1月 ポスト舞踏派 ダンス公演 『魔笛』
<https://www.kaat.jp/d/tenshikan2024>
- 24年1月 Noism x 鼓童『鬼』再演 神奈川公演
<https://www.kaat.jp/d/oni>

長塚圭史の思いつき



これからの新しいKAATを探るなら、そのヒントは長塚芸術監督の頭のなかにはあるはず。そこで、今号制作の過程でつかんだ手応えや新しい発見について聞いてみました。

以前の僕と神奈川の関わりは、横浜と川崎近辺、葉山に少しなじみがあるというくらいでした。そこで、県のことをもっともっと知りたいと、「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト」を始めたわけですが、今回、椿さんに野菜の産地としての横浜18区のお話を伺い、初めて具体的な横浜の輪郭を知ることができたような気がしています。JR横浜駅の大野駅長には、鉄道という視点でお話を伺い、点(街)を線(線路)でつなげていくことの重要性についてあらためて思いを馳せました。KAAT PAPERでつながった縁も、振り返りながら更新して、関係を築いていくこと。それが僕らにとって必要なことだと感じた特集でした。

※一部コンテンツはInstagramや劇場ホームページ(<https://www.kaat.jp>)でも展開しております。
ご意見・ご感想をぜひX(旧ツイッター)・Instagramに「#kaatpaper」をつけて投稿してください。

表紙の絵について 霜田哲也(美術家)

最後に神奈川に行ったのはいつだろう。微かな記憶を頼りに筆を走らせていると不思議とあれよあれよと新しい命が生まれてきた。関西生まれの私に神戸港があるように、神奈川県には横浜という港町がある。異国のムードが海を超えやってくるわくわく感と、どこか日本にいて違う場所にいるような不思議空間、そしてさまざまな世代にとって楽しめる場所、というポイントが制作のヒントになった。実際私は神奈川といえども横浜にしか行ったことがないので、インターネットで所謂名所の数々を眺めながらの作業だったが、不思議と行ったことのあるような、むしろそこに長く居たような錯覚を覚えた。どこか懐かしさもあり、しかし新しさも感じる場所やモノ。なかには不思議なネーミングのものや、そそられる形など、私の目と頭を刺激し続けた。

KAAT 公演スケジュール 2024 WINTER-SPRING

1月8日(月・祝)	ポスト舞踏派 ダンス公演『魔笛』	ホール
1月13日(土) - 1月14日(日)	Noism x 鼓童『鬼』再演 神奈川公演	ホール
1月13日(土)	明治学院大学舞台技術研究会『幻冬 rise of the curtain』	大スタジオ
2月3日(土) - 2月12日(月・休)	KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第二弾『箱根山の美女と野獣』『三浦半島の人魚姫』	中スタジオ
2月16日(金) - 3月3日(日)	KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『スプーンフェイス・スタインバーグ』	大スタジオ
3月6日(水) - 3月7日(木)	KAAT舞台技術講座2023「高所作業における安全対策～落下を防ぐ～」 「フルハーネス型墜落制止用器具特別教育」	大スタジオ
3月16日(土) - 3月17日(日)	かながわパフォーミングアーツアワード2024	大スタジオ
3月22日(金) - 3月24日(日)	劇団かかし座 影絵劇公演	大スタジオ
3月30日(土)	熊谷有梨バレエクラスパフォーマンス『J.S.Bach バレエコンサート Vol.20』	大スタジオ
4月17日(水) - 4月21日(日)	TAK in KAAT『ヨルノハテのショーケース』	大スタジオ
4月23日(火) - 8月11日(日・祝)	劇団四季 ミュージカル『オペラ座の怪人』	ホール
4月27日(土) - 4月29日(月・祝)	Baobab PRESENTS DANCE x Scrum!!! 2024 WS	大スタジオ
5月3日(金・祝) - 5月6日(月・休)	Baobab PRESENTS DANCE x Scrum!!! 2024 ショーケース	大スタジオ・アトリウム
1・2月開催 (各月の日程は決定次第発表します)	KAATフレンドシッププログラム「みんなのKAAT バックステージツアー」	ホール

※情報は2023年12月27日現在のものです。変更となる場合がございます。予めご了承ください。詳細は、各公演のウェブサイトをご確認ください。

KAAT 神奈川芸術劇場

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町281
TEL.045-633-6500(代表) FAX.045-681-1691
<https://www.kaat.jp>

- みなとみらい線:渋谷駅から東横線直通で35分!横浜駅から6分!
日本大通り駅から徒歩5分。元町・中華街駅から徒歩8分。
- JR根岸線:関内駅または石川町駅から徒歩14分。
- 市営地下鉄:関内駅から徒歩14分。
- 市営バス:芸術劇場・NHK前すぐ。
横浜駅前東口バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約25分)
桜木町駅前バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約10分)
※上記のりばから発車するバスはすべて「芸術劇場・NHK前」を通ります。
ただし、148系統急行線を除く。
- 神奈川芸術劇場有料駐車場(65台)もご利用ください。
指定管理者:(公財)神奈川芸術文化財団



KAAT PAPER 読者アンケート

今後の誌面づくりに活かすため、皆さまのご意見・ご感想をぜひお寄せください。アンケートにご回答いただいた方のなかから抽選で、1組2名様にKAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第二弾『箱根山の美女と野獣』『三浦半島の人魚姫』(作・演出:長塚圭史/ご招待日:2024年2月11日(日)11時の回)のチケットをプレゼントいたします。
※チケットプレゼント応募期限:2024年1月28日(日) ※厳選なる抽選のうえ、当選者の発表はメールでのご連絡をもって代えさせていただきます。

